

魅力ある大学院教育イニシアティブ「先端科学技術の芽を生み出す女性研究者育成」プログラム  
(継続プログラム)

## 「国内学会・研究集会」参加報告書

2008年9月16日

専攻・講座名 複合現象科学専攻  
学年 博士後期課程 2回生  
氏名 井上 洋子

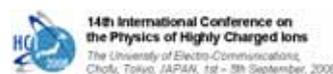
9月1日～9月5日の期間、電気通信大学（東京都調布市）で開催された、国際会議 HCI 2008 (International Conference on the Highly Charged Ions) に参加し、ポスターにおける研究発表を行いました。

この会議は、二価以上の価数のイオン（多価イオン、通称 HCI）を扱う研究者を対象としたもので、私は今年で二度目の参加となります。多価イオンは内部エネルギーが高いために様々な物質との相互作用が可能で、その際興味深い現象を引き起こす事が知られています。その為、宇宙物理学、核融合物理学、量子工学そして生体化学などの様々な分野において着目され研究が成されてきました。

今回私は、多価イオンと分子を低速度で衝突させた際、衝突によってイオン化した分子の持つ反跳運動エネルギーが衝突エネルギーにどの様に依存するのか、というテーマでポスターによる発表を行いました。ポスターセッションでは、装置の構造から具体的な考察まで、多様な質問を受けました。英語での対応には幾分苦労しましたが、国際会議も三度目となり今までの中で一番物怖じせず説明、解説することが出来たと思います。この様に英語を使う機会は普段ほとんどないので、今後も国際会議に積極的に参加していきたいと考えています。

また今回の会議では様々な講演が行われました。中でも、生体分子に関する研究報告では、構造が異なる異性体生体分子はイオン化するにも容易さが異なってくるという発表が印象的でした。他に、重イオンの多重励起状態を引き起こすために開発された新システムの報告もありました。この様に新たな手法が確立されると研究対象の幅が広がり、HCI 分野の発展が見込まれる為、非常に素晴らしいことだと感じました。以上の二講演以外にも興味深い内容の講義が沢山あり、研究を行う上で必要な意欲が高められ、また情報収集も出来ました。

最後になりましたが、魅力ある大学院教育イニシアティブ「先端科学技術の芽を生み出す女性研究者育成」プログラム(継続プログラム)より資金補助をして頂いたお陰でこの様な貴重な体験をすることが出来ました。ここで、お礼申し上げます。



HCI2008



発表に用いたポスター



ポスターセッションの様子



講演の様子